

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号 (0195700117), 法人名 (株式会社 メディケアサービス北海道), 事業所名 (グループホーム はるか), 所在地 (岩見沢市8条東6丁目1番地1号), 自己評価作成日 (令和6年2月6日), 評価結果市町村受理日 (令和6年3月29日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が健康面に不安を感じる事無く、今できる事を継続して行えるよう支援し、笑顔の多い暮らしを目指して日々ケアにあたっています。現在コロナが5類に移行となり、今年はお家族様との時間を大切にできるような年になればと思います。具体的には、お家族様との面会制限もなく、各居室で対面できる他、外出・外泊対応も可能とし、日帰りでご家族様と食事を楽しんだり、ご自宅で誕生会を祝われたり、お正月1泊でご自宅に帰られる、買い物に行く、...等々ご家族様と利用者様との時間を大切にすることができた1年でした。遠方で中々面会に来られないご家族様の為にも、はるかのおたよりとは別に個人の写真をまとめ、1カ月の生活の様子が分かるよう毎月継続して送付しています。5類に移行となりましたが、コロナ感染やインフルエンザ等、感染・クラスターになるリスクはあるので、協力医療機関も隣接している為、利用者様の変化にはすぐ対応し、必要時は往診できる体制を整えております。その他協力医療機関以外で、はるかへ入居後もかかりつけ医で診てもらえるよう職員対応で受診対応も可能となっています。ご家族様のご希望があれば、病院で待ち合わせ一緒に先生のお話を聞ける体制も整えております。はるかでの日常生活では、花壇や畑があり利用者様と一緒に花を育て、作物を収穫、その食材を使って一緒に調理を行う等の支援もしています。認知症の進行に伴い職員がしっかりと症状を理解し、ケアできるよう職員研修も行っています。そして、非常災害時に備えて電源自立型空調を設置しているため、空調や照明、通信機器は継続使用可能となっているので、緊急避難先としても利用可能となっています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/O1/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0195700117-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 columns: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和6年2月23日)

事業所は、市街地から車で10分程の住宅地にあり、買い物、交通に至便ながら静かな環境下に立地している。同法人のデイサービス等も隣接しており、各種のサービスと医療面での信頼が利用者や家族の安心感に繋がっている。建物は平屋で、左右に位置した2つのユニットに計18人の高齢者が生活を共にしている。当事業所の優れた点は、医療面の充実が挙げられ、訪問看護と24Hのオンコール体制で繋がりが、隣接した協力医療機関の即応性も含め、医療連携体制の提供に努めている。介護面では、利用者個別に徹したサービスを指向しており、きめ細かさや介護の基本となっている。現在も、福祉サービス事業所ではコロナ5類移行後も変わらず感染防止対策に追われており、禍前のような生活に戻りにくい現状のなか、施設長を中心に面会、外出、外泊等、家族と過ごせる時間作りを目標として制限の解除に取り組む、実現させた尽力を高く評価したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 describe various service outcomes like staff understanding, user participation, and safety.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念、ユニットの目標をホーム内の見やすい場所に掲示し、年度初めに理念や目標を確認、それに向け実践、年度末評価、実践に繋げています。	事業所理念の他、全職員で意見を出し合って作成したユニット目標を掲げ、日常的に共有している。また、理念、目標の達成度について定期的に会議の場で検証、協議しながら、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ5類移行となりましたが、日常的な交流の頻度は少なく、ゴミ捨てや近隣散歩の際にお近所の方とご挨拶等されています。	町内会、地域活動に積極的に参加している。現在は、地域包括支援センターの認知症についての普及・啓蒙活動に参加し、事業所の活動について発信している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	電話で施設の概要や入居希望される方の症状について、問い合わせ、または見学で訪問された方に対し都度対応しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で得た情報を活かし、利用者様のケアに反映、また、議事録はホームに掲示し、ご家族様には送付しています。	集合型での会議を実施し、市や包括支援センター職員、地域関係者、家族や利用者の参加を得ている。定例報告に加え、事故、ヒヤリハットや防災関係などを報告し、推進委員からの意見は事業所のサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ホームのおたよりを市役所や包括に届け、施設の空室状況等も居宅事業所へお伝えしています。	行政との対応は主に管理者が行い、定期報告や情報交換のほか、運営上の不明点などを相談し、助言や指導を受けている。利用者の生活に直結する介護保険認定更新や保護費関係でも、随時協働している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を年4回開催、資料を使い内部・外部研修にも参加し、身体拘束に繋がるケアを行っていないか再確認、身体拘束のないケアが出来るよう取り組んでいます。	法人全体で身体拘束や虐待をしないケアを掲げている。指針の下、定例で身体拘束、虐待委員会、研修会を開催し、職員のより深い理解度に繋げている。職員のストレス軽減への配慮もあるなど、安心感ある職場環境に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会の設置と指針の整備を行い、オンデマンド研修に参加し、研修内容は全職員に周知し、虐待防止に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	年に一度権利擁護の関する研修を全職員対象に行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に重要事項説明書、契約書に基づき説明を行い、分かりやすいよう見本等も用意しながら理解・納得が得られるよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の日々の生活の中で、訪問時や電話等でご家族様からご意見・ご要望を伺い、それを個別のおたよりなどで知らせ、反映しています。	面会、外出は多様な方法について職員間で検討し、感染防止に留意・工夫しながら、制限の解除を実現させた。電話や写真を添えたお便りで、生活・健康状態について伝え、意見を得ている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談やミーティング、業務日報、管理者がフロアに入った時等に職員の意見や提案を聞き、また、リーダーが意見を収集し、管理者へ報告ケアに活かすように努めています。	日常の業務や会議の中では、率直な意見表出が定着しており、業務改善やより良いケアの提案、その実践に反映している。内部や法人内研修等で、業務へのモチベーションを持てるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力や実績を評価し、向上心に繋がるような声掛けを心掛けています。また、その方にあつた働き方、ユニットの状況に合わせた人員配置、精神的負担の軽減に繋がるよう努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者やリーダーは常に職員一人一人の力量を見極め、課題を見つけそれを内部研修に取り上げたり、外部研修の参加を促しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人の居宅・デイサービス・混合型特定施設の各所属長と月に1回会議を開催し、情報の共有や研修、意見交換などを行い、サービスの質の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。	入居前の情報収集を行い、面談の場を活用し、ご本人様の希望も伺い、サービス提供へと繋げています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居にあたりご家族様のご要望、これまでの経過、現在困っている事等伺っています。お忙しいご家族様にも電話等で対応しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	経過を把握した上で、ご本人様とご家族様に寄り添ったサービス提供の説明と選択肢が広がる対応に取り組んでいます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と一緒に料理や掃除等を行いながら、共同生活を意識して頂き、職員がフォローし、支え合って生活出来る様努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話があった時などは近況をお伝えしています。玄関先、テラス、自室で制限なく面会ができます。電話や手紙、写真送付等対応しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙や電話が出来る様支援したり、部屋に飾ってある写真やアルバムと一緒に見て、忘れないような工夫をしています。	面会については、5類に移行後、家族以外に友人、知人の来訪にも対応している。電話等の取次ぎでも、馴染みの関係性を支えている。外出支援は感染状況を考慮しつつ、柔軟に対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者様の個々の性格や利用者様同士の関係性等も理解した上で、孤立しないように、日常生活を送れるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了後も必要なサービスが送れるよう、フォローしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話を大切に、ご本人様から直接伺ったり、生活歴から思いや意向を把握し、ケアプランに反映しています。	毎日の生活を支え、嫌な事や好きな事等々を把握し、職員間で共有、本人の意向に沿った暮らしを支援している。困難な場合でも仕事や目線、表現を頼りに本人本位になるよう検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らし方について、ご本人様やご家族様に聞き取りしています。以前利用していたサービス担当者の方からもお話を伺っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様と日常的に関わりを持つと共に介護記録や業務日報の記述、ミーティング等を通して利用者様の現状把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の利用者様の変化を見落とさず介護記録に記載し、情報共有の徹底、リーダーを中心にケアプランの見直しを行い、職員と意見交換、ケアプランに反映しています。	ニーズに沿った介護計画を策定するため、職員間で検討し、家族や医療の意見も参照する等、現状に合った介護計画を作成している。また病気などで変更が生じた場合は、速やかに現状に即した計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録に生活の様子、日々気づいた事、ご本人様の話した事等細かく記載。記録に基づいてケアの実践・評価し、職員間で情報を共有、ケアの統一を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様、かかりつけ医、訪問看護等と連携し、ご本人様の状態に合わせ往診対応が出来る様、または、訪問看護の利用回数を増やす等、色々なサービス提供できるよう取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在地域交流が出来ていませんが、町内会へ入れるよう働きかけをします。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居以前からかかっている病院を継続して受診できるよう、また、受診時にはホームでの様子が分かるように利用者様の健康管理記録やバイタルチェック表を元に受診し、主治医へ伝えています。	協力医療機関による訪問診療、訪問看護があり、職員は医療的相談やアドバイスを受け、利用者の健康を守っている。また24時間オンコール体制で夜間や緊急時の対応に備えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に2回訪問看護を利用し、利用者様チェック表を元に現在気になる事、状態等を伝え、受診し、適切なケアが出来る様支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	医師や看護師、ケアマネ等から病状の経過等、電話対応で伺い、退院時に向けてホームでスムーズに受け入れできる体制を整えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について、入居時にご家族様に意向を確認しています。状態変化等あれば、都度ご家族様にお伝えし、重度化防止の為、ミーティング、チーム支援を軸とし日々ケアを行っています。	終末期の介護は本人・家族の希望により応じる旨入居時に説明し、同意を得ている。協力医と家族、事業所間で話し合い、支援体制を整えており、意向に沿って介護できるように、職員間で情報共有、研修に努め、取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時マニュアル等を用いて、職員は情報の共有し、利用者様の日々の状態変化に合わせて対応できるよう学んでいます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回日中と夜間想定訓練を行っています。停電時には自家発電機能もあり、備蓄食料等も常備しています。	マニュアルを基に、定例で火災・自然災害を想定した避難訓練を実施している。現在、併設の事業所、地域との相互の協力体制や役割を再度、職員間で検討している。電源自立型空調を設置し、空調や照明、通信機器などの災害時使用に備えている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人一人に合わせた声掛けを統一して行い、スタッフ間では造語を用いて会話等配慮しています。	職員は、利用者の人格・個別性の尊厳を介護の基本とし、いかなる時もその尊厳を損なうことない介護に専念している。定期的な接遇やケア手法等の見直しの機会を設けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の話したい事柄を焦らす事なく、ゆっくり時間をかけて、傾聴するよう職員は心掛けています。迷いのある時は、いくつか選択肢を用意し、ご本人様を選べるよう工夫しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様の意志を尊重し、希望を伺いながら支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時等ご自分で好きな洋服を選んで頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	畑で作った野菜と一緒に収穫、料理します。メニューのリクエスト等あればメニューに反映し、季節を感じられるおやつ作りも一緒に行きます。その方に合った食事形態の提供し、食器洗い、食器拭き等のお手伝いもして頂いています。	献立、主食は利用者の希望を取り入れており、季節感や栄養バランスを大切にしている。ホーム菜園での野菜作り～収穫、可能な利用者には配膳準備・片付けなどを手伝ってもらい、楽しみながら力を活かせるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量の一覧表と体重を管理し、低栄養にならないよう、主治医からの採血データを元に必要な食材を個別に対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時と毎食後の口腔ケアを徹底し、必要に応じて介助も行っていきます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介護記録を用いて排泄パターンを把握し、声掛けや確認回数を増やす等、なるべくトイレで排泄できるよう支援しています。	職員は個々の心身の状況や排泄パターンなどをチェック表を活用して共有し、個々のトイレでの自立支援に取り組んでいる。衛生用品のサイズ感等、定期的に身体に合ったものに見直す機会を設けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の調整や朝に牛乳、ヨーグルトや食後のデザート等で果物を提供、歩行運動、下肢運動、排泄時の腹部マッサージ等行っていきます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の拒否があれば、日にちや時間を変更して対応、音楽や入浴剤等気持ちが切り替わるよう工夫しています。	毎日お湯はりをし、週2回の入浴を支援している。拒否がある人には時間・日程を変更し、本人の状態や希望に応じて、柔軟な対応に努めている。同性介助の希望も聞き取っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	常に清潔な場所での安眠・休息ができるようベッドメイキングを行っています。利用者様の体調等に合わせ、安楽な姿勢で休めるようクッション等で必要時体位変換も行っていきます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員間で、薬の内容・変更・特記事項等情報の共有し、服薬時、服薬後と確認回数増やし、誤薬や服薬忘れ防止に努めています。薬の変更時には介護記録で経過を追い、変化に合わせ対応、主治医にも報告しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	全体や個別レク、季節ごとの行事や掲示物等で楽しく生活できるよう支援しています。手作り神社、獅子舞等楽しんでもらえるよう職員は工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近所を散策、市内をドライブ季節の花(桜や紅葉)を観に出掛けたりしています。ご家族様と外出・外泊、外食や買い物などもでき、ご家族様との時間を大切にしています。	通例では個別に声掛けし、散歩や買い物等、気軽に外出が出来るよう支援している。感染防止に留意しながら外気浴の機会を設けたり、運動やメンタルケアを積極的に取り入れることで、心身の状態維持に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理が難しい方やご家族様が管理しており、金銭面での支援は行っていません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙で、ご家族様やご友人とのやりとりが出来る様支援しています。毎月ご主人へ手紙を書いている方もいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様と一緒に季節に合わせた装飾品を作り、一緒に飾り付けする事で季節感を感じて頂いています。トイレの場所やカレンダー等分かりやすく掲示、工夫しています。	共用スペースは利用者の体感を聞き取りながら、温・湿度が適切に保たれている。職員と利用者が共同で作った作品が飾られ、明るく清潔で安全な環境作りに留意し、椅子やソファを各所に配置し、好きな場所で自由に過ごせるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	全員でレクを行ったり、個人の時間も尊重し、自室でテレビを見たり、静養される方もいます。個々の人間関係も把握し、皆が不快な思いをしないよう、職員は配慮に努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の状態の変化にすぐに対応できるよう全室電動ベッド、また、使い慣れた家具ご家族様と相談し設置しています。室内には思い入れのある飾りや写真を飾り、居心地の良い空間に出来るよう努めています。	馴染みのあるタンスや生活用品、家族写真などが持ち込まれ、自室として落ち着けるよう配慮している。状態の変化では動線の確保を優先し、家族とも相談して家具等の整理を行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	可能な限り自立支援を念頭に入れ、利用者様が出来る事を見守りながら行ってもらっています。		